

<p>★学校の教育目標</p>	<p>自ら考え学ぶ子（か：かんがえる子） ◎思いやりのある子（や：やさしい子）</p> <p>健康でたくましい子（つ：つよい子） めあてをもってやりぬく子（く：くじけない子）</p>	<p>★重点計画の概要</p>
<p>★目指す学校像（ビジョン） 笑顔いっぱい、やさしさいっぱい だれもが活躍し、ともに伸びゆく 南平小学校</p>		<p>●相手を思いやる言動を称賛し、共感力や豊かな感性、人間関係調整力を育む。 ●自他の生命を尊重できるように、全教育活動において「自己肯定感の醸成」に努める。 ●日々の学習指導を中心として、確かな学力と自ら学び考え表現する児童の育成を図る。 ●児童の健全な成長のための個性の伸長、規範意識の醸成に努める。 ●地域環境を生かした様々な体験活動を通して、地域に愛着をもつ児童の育成を図る。 ●全教職員の協働による教育活動が展開できるよう、チーム南平としての意識を高める。</p>
<p>【めざす児童・生徒像】</p>	<p>○かんがえる子「課題発見力」「対話力」「問題解決力」 ◎やさしい子「共感力」「豊かな感性」「人間関係調整力」</p> <p>○つよい子「自己有用感」「心身ともに健康な体」「行動力」 ○くじけない子「自己調整力」「社会貢献力」「創造力」</p>	
<p>【めざす学校像】</p>	<p>○児童にとって、楽しく生活できる学校 ○保護者にとって、子供を通わせたい学校 ○地域にとって、信頼できる学校 ○教職員にとって 働きがいのある学校</p>	
<p>【めざす教師像】</p>	<p>○指導力の向上を目指し、学び続ける教職員 ○自他のいのちを守り、心身ともに健康な教職員 ○子供一人一人を大切に、感性豊かな教職員 ○チームの意識をもち、課題解決に努める教職員</p>	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	
				取組指標	成果指標
いのち	自他と命を大切にする豊かな心の育成を図る。	●他者に共感し、互いの良さを認め、活かしかう活動を設定する。 ●いじめの未然防止、早期発見・対応及び継続的な指導を行う。	●相手を思いやる言動を称賛し全体に広めることで、互いの良さを認め合い、尊重し合う心地よさを実感させる。 ●道徳授業の「生命尊重」「親切・思いやり」等で、児童が「いのち」について考えを深める授業を行う。 ●いじめアンケートや観察等を通して、早期発見に努める。いじめの疑いがある場合は、組織的に早期対応を行う。	4 100%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4 児童のアンケートで、90%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				3 90%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3 児童のアンケートで、80%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				2 80%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2 児童のアンケートで、70%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				1 具体的方策を意識して取り組んだ教員が、80%未満だった。	1 肯定的な自己評価をした児童が70%未満だった。
学び	確かな学力の育成を図る。	●基礎・基本の定着を図るとともに、ユニバーサルデザインの授業づくりを推進する。 ●児童の考えを大切に、対話的に学び合う授業を展開する。 ●ICT機器を活用し、個に合った内容や方法で学習できるようにする。	●授業のUD化を進め、学習内容の一層の定着を図る。支援が必要な児童にとっても、よりよい学びの場を保障する。 ●学習のねらいを明確にし、児童が思考し対話する授業を展開する。また、学習の振り返りを行い、授業改善に活かす。 ●校内研究でタブレット端末を使った効果的な実践例を蓄積し、児童が自分に合った課題解決に活用できるようにする。	4 100%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4 児童のアンケートで、90%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				3 90%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3 児童のアンケートで、80%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				2 80%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2 児童のアンケートで、70%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				1 具体的方策を意識して取り組んだ教員が、80%未満だった。	1 肯定的な自己評価をした児童が70%未満だった。
かかわり	人とよりよく関わる力を育成する。	●言語活動を充実させ、対話を通して課題を解決する力をつける。 ●社会規範を身に付け、ルールやマナーを守って生活できるようにする。 ●多様な関わり場を用意し、児童が自己有用感を味わえるようにする。	●児童が自分の思いや考えを伝え合い、様々な人と協働して課題を解決する学習活動を全教科等で実施する。 ●児童が自分たちの生活を見つめ、学校や学級のきまりやマナーについて考え、順守する指導を行う。 ●委員会活動やクラブ活動をはじめ、学級やグループ活動においても、人の役に立つことの心地よさを味わわせる。 ●たてわり活動や異学年とかかわる活動を通して、学年による役割を果たすことで自己有用感をもたせる。	4 100%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4 児童のアンケートで、90%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				3 90%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3 児童のアンケートで、80%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				2 80%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2 児童のアンケートで、70%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				1 具体的方策を意識して取り組んだ教員が、80%未満だった。	1 肯定的な自己評価をした児童が70%未満だった。
体力・健康	心身ともに健やかな児童を育成する。	●運動の楽しさを味わう授業づくりと体育的活動を工夫する。 ●保健指導、食育指導の充実を図る。	●児童が課題をもち、運動の楽しさを十分に味わうための運動量が確保された体育授業への改善を行う。 ●児童が自発的に運動に取り組めるように、体育朝会、縄跳び月間や持久走月間等の体育的活動を計画的に実施する。 ●保健指導や食育指導を通して、健康な体作りの大切さに気付かせ、自分の心や体についての関心を高める。	4 100%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4 児童のアンケートで、90%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				3 90%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3 児童のアンケートで、80%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				2 80%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2 児童のアンケートで、70%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				1 具体的方策を意識して取り組んだ教員が、80%未満だった。	1 肯定的な自己評価をした児童が70%未満だった。
地域	地域の自然や人材との関わりを通して、体験的に学ぶ機会を設定する。	●地域の自然や産業に触れながら体験的に学ぶ学習活動を指導計画に位置付ける。 ●地域の人や関連諸機関と連携し、児童の健全育成に努める。	●生活科・総合的な学習の時間、理科・社会科等の年間指導計画に、地域の教材や人材を活用した授業を位置付け、実践する。 ●幼保小連携、小中連携、近隣の都立高校や大学等と交流する機会をもち、多様な関わりを通して地域の良さを実感できるようにする。 ●地域学習の成果を発見し、地域人材と豊かに関わるができるようにする。 ●積極的に地域行事に参加・協力し、地域との関係を深める。	4 100%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4 児童のアンケートで、90%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				3 90%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3 児童のアンケートで、80%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				2 80%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2 児童のアンケートで、70%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				1 具体的方策を意識して取り組んだ教員が、80%未満だった。	1 肯定的な自己評価をした児童が70%未満だった。
学校運営	教職員がチーム南平小としての意識をもち、組織的に課題解決に取り組む。	●報告・連絡・相談・確認を確実にし、風通しの良い職場にする。 ●全教職員で若手教員の人材育成を図る。 ●思いやりの心で支え合う体制を構築する。 ●服務事故の未然防止の意識向上を図る。	●児童の問題や保護者からの要望、企画立案等に関しては、学年主任や分掌の長、管理職への報告・連絡・相談を徹底して、組織的な対応を行う。 ●SSSの活用や校務改善等によって時間を生み出し、若手教員の人材育成を図る。 ●若手教員は積極的に指導・助言を受け、指導力向上に努める。 ●学校行事等では全員が役割を担い、担当者を支える体制を整える。 ●随時、注意喚起を促すとともに定期的に服務事故防止研修を実施する。	4 100%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4 児童のアンケートで、90%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				3 90%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3 児童のアンケートで、80%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				2 80%の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2 児童のアンケートで、70%以上の児童が肯定的な自己評価をした。
				1 具体的方策を意識して取り組んだ教員が、80%未満だった。	1 肯定的な自己評価をした児童が70%未満だった。

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。